すみだのものづくりを元気にする新たな取組

区では、すみだのものづくりを活性化し、未来へと引き継ぐため、新しい施策を積極的に展開していきます。2面では、今年度から新たに取り組む2つの施策を紹介します。
[問合せ]産業経済課産業振興担当 ☎5608－6188

新分野ジョイント事業　ものづくり企業の活躍の場を拡大するために

すみだのものづくりは、主に部品等を製造する中小零細企業によって支えられています。これらの企業は、優れた加工技術に強みを持っていますが、その技術を自らアピールして、販路を開拓するといったことは、積極的に行ってはきませんでした。そこで区では、すみだのものづくりの情報を発信し、新たなビジネスチャンスを創出するとともに、区内のものづくり産業に新しい活力を注入することで、産業と地域の活性化をめざす「新分野ジョイント事業」を展開します。

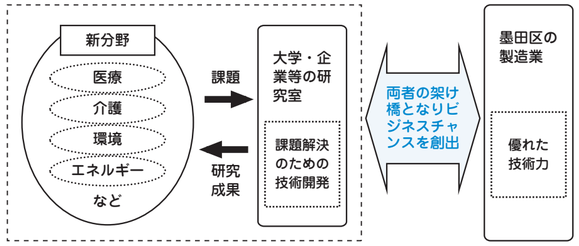
■すみだの技術を全国に発信

大学や企業の研究者・開発者向けの機関誌に、年間を通じてすみだのものづくり企業を紹介する記事を掲載し、区内企業が誇る技術をPRします。また、〝何でもつくることができる すみだ〟をコンセプトとした特設ホームページを開設し、全国に向けた情報発信も行います。

■研究者と区内企業との出会いの場

これまで、区内企業と接点がほとんどなかった〝新分野〟（医療・介護・環境・エネルギー等）の研究者・開発者との交流の場を提供します。研究者の研究内容や区内企業の技術を伝え合うワークショップなどで、互いの本音をぶつけ合い、新たなビジネスチャンスを生み出します。

新分野ジョイント事業のイメージ



新分野ジョイントワークショップ2013

[とき]9月8日（日）午後1時～5時　＊午後5時半から希望者のみの懇親会あり**[ところ]**すみだ中小企業センター（文花1－19－1）**[内容]**世代・分野・業種を超えて、1つのテーマについてアイディアを出し合う**[対象]**区内事業者**[定員]**先着30人**[費用]**無料　＊懇親会参加者は会費3000円が必要**[申込み]**事前に株式会社リバネスのホームページ（http://ysep.info/archives/4956）から電子申請**[問合せ]**産業経済課産業振興担当

研究者のユニークな発想に刺激を受けました

金属加工業（八広一丁目）
岩井保王さん

今年3月に参加した、大学や企業の研究者とものづくり企業との出会いの場である「超異分野学会」は、とても印象に残っています。この学会で知った研究者のユニークな発想や着眼点が大変面白く、刺激になったからです。研究者の話を聞いて、研究に必要な機材などは、自らの知恵と工夫で手作りしていることが多いと知り、その熱意を感じる反面、私たちの技術を使えば、もっと使いやすいものにできると確信しました。

こうした点を、私たちものづくりのプロから提案できれば、研究者にとっても研究効率の向上などのメリットがありますし、私たちにとってはビジネスチャンスにつながります。さらに、「最先端の研究に関わっている」という自負が持てることは、何ものにも替えがたい財産になります。今後も、こうした機会があれば積極的に参加し、自分の知見と仕事の裾野を広げていきたいです。

新ものづくり創出拠点の整備　ものづくりに携わる人の裾野を広げるために

技術の進歩は、ものづくりに大きな変化をもたらしてきました。生産技術の向上による大量生産・大量消費の時代を経て、現在では、消費者ニーズの細分化に対応するため、少量・多品種での生産が求められています。また、3Dプリンタなどのデジタル工作機械が急速に普及し、個人でも作りたいものを自由に作れる時代を迎えています。

区では、こうした環境の変化に対応して、すみだのものづくりの革新を促すため、区内の空き工場等を活用した施設である、「新ものづくり創出拠点」の整備を民設民営で進めます。この整備によって、アナログからデジタルまで幅広い工作機械等を設置し、ものづくりに関心のある人が自由に使える施設などの創出をめざします。そのねらいは、ただ〝機械をシェアする場〟を提供するのではなく、〝ものづくりを通した出会いの場〟を生み出すという点にあります。また、この施設の運営を通して、外部から新しい発想を持った人材を呼び込み、区内企業と結び付けることで、ビジネスチャンスの拡大と新たなものづくりモデルの構築をめざします。

なお、「新ものづくり創出拠点」を整備する事業者に対しては、改修費・設備等購入費などの補助を行いますので、ぜひ、ご活用ください。

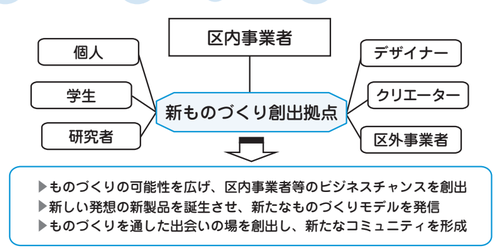
■「新ものづくり創出拠点」の整備費用の補助

[補助対象経費]施設改修費、機械設備等購入費など**[補助上限額]**2000万円**[問合せ]**産業経済課産業振興担当　＊補助事業者は、公募を行い、審査を経て決定

新ものづくり創出拠点の役割

- ●ものづくりの裾野を広げることで、伝統や職人の高度な技術への敬意を促すとともに、ものづくりに対する人々の理解をより深める場
- ●ものづくりを通して、子どもから大人まで、また、アマチュアから職人まで、誰もが集まる地域コミュニティの核となる場
- ●世界中から集まる、ものづくりに関するアイディアや課題などを、地域の中小企業につなげる場

新ものづくり創出拠点のイメージ



☎＝電話　FAX＝ファクス　✉＝Eメール　🖳＝ホームページアドレス

広告 ケーブルテレビもネットも電話もまとめてお得に。ご相談は地元のJ:COMすみだ・台東へ☎0120-999-000(9:00～21:00)

他都市との連携でものづくりの明日を考える

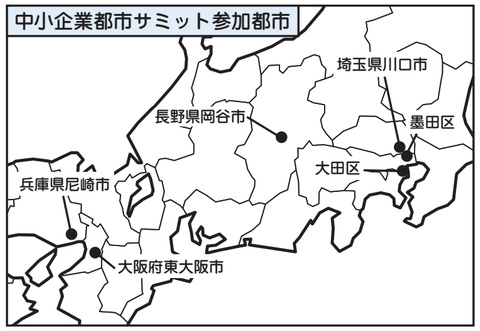
3面では、すみだで2回目の開催となる、中小企業都市サミットなどについて紹介します。
[問合せ]産業経済課産業振興担当 ☎5608－6188

中小企業都市サミットを開催します

中小企業が集積する、下図の6都市の行政と商工会議所の首脳が一堂に会し、中小企業の振興に関わる問題について議論する「第9回中小企業都市サミット（すみだサミット）」を、8月8日（木）・9日（金）に、第一ホテル両国（横網1－6－1・国際ファッションセンタービル内）で開催します。

このサミットでは、各都市が抱える共通の課題について話し合うとともに、今後の日本の中小企業振興施策の方向性などを検討し、その成果を「サミット宣言文」としてまとめて、広く発表しています。また、日本のものづくりの発展に向けて国レベルでの取組を促すため、「国への提言」も行っています。

今回のすみだサミットでは、「ものづくりの新たな魅力発信とネットワーク」をテーマに、分科会と首脳会談を実施します。分科会では、行政と商工会議所に分かれて、「ものづくりの新市場開拓と対応」、「ものづくりの新しい形」の2つの議題について議論します。そして、首脳会談では、産業に関する各都市の現状と産業振興施策を紹介するとともに、分科会での検討内容を踏まえて「サミット宣言文」と「国への提言」を取りまとめ、このサミットの成果として広く発信します。



■これまでの中小企業都市サミット

回	開催都市	テーマ
第1回（平成9年5月）	大阪府東大阪市	産業の空洞化の解決
第2回（10年11月）	大田区	魅力ある中小企業都市の創造 〝21世紀のものづくり、人づくり〟
第3回（12年6月）	墨田区	地域ものづくり人材の育成とその人々の活躍
第4回（14年5月）	兵庫県尼崎市	知恵の交流による地域産業活力の創出
第5回（16年5月）	埼玉県川口市	新しい中小企業の道標と中小企業都市
第6回（18年10月）	長野県岡谷市	地域社会を元気にする中小企業群像
第7回（21年7月）	大阪府東大阪市	モノづくり中小企業における経済危機克服と新たな成長への針路
第8回（23年8月）	大田区	ものづくり日本の再興

■スモールメイカーズショー in すみだ 同時開催

今回のすみだサミットの開催に合わせ、区内の中小企業（スモールメイカー）等が主体となって企画・運営する、中小企業のためのイベント「スモールメイカーズショー inすみだ」が、8月8日（木）・9日（金）の2日間、両国国技館（横網1－3－28）で開催されます。

このイベントでは、中小企業約200社が自社製品の展示等を行う「スモールメイカーズマーケット」や、すみだで生まれた製品を活用した本格的なファッションショー「All Japan Collection 2014」、ものづくりの技術を注ぎ込んで競う「全日本製造業コマ大戦」など、ものづくりの魅力を肌で感じられるプログラムが数多く実施されます。

全国の〝スモールメイカー〟が集い、つながり、ものづくりの最新情報を広く世界に発信するこのイベントに、ぜひ、お越しいただき、日本のものづくりの底力を体感してみてください。

■スモールメイカーズショー in すみだの主な催し

[ところ]両国国技館**[費用]**無料**[申込み]**当日直接会場へ

催し名	とき	内容
スモールメイカーズマーケット	8月8日（木）・9日（金）午前10時～午後5時　＊9日は午後4時まで	中小企業の最新技術や商品の展示等
ファッションショー「All Japan Collection 2014」	8月8日（木）午前10時～正午	すみだで生産された製品を活用した本格的ファッションショー
中小企業都市サミットシンポジウム	8月8日（木）午後1時～5時	日本のものづくりを取り巻く環境などについての基調講演とパネルディスカッション
しんきん理事長サミット	8月9日（金）午前10時半～11時半	中小企業都市サミット参加の6都市に関連する信用金庫理事長によるトークイベント
全日本製造業コマ大戦	8月9日（金）正午～午後4時	参加企業の技術を駆使して製作したコマの戦い　＊「子どもコマ配財ワークショップ」も同時開催

〝リアルな縁〟をたくさん作りたいです

スモールメイカーズショー inすみだ
実行委員会会長
浜野慶一さん

中小企業（スモールメイカー）が元気になるためには、本音の語り合いから生まれる〝リアルな縁〟をたくさん築くことが必要だと思います。この「スモールメイカーズショー inすみだ」では、こうした縁を生み出すための催しをたくさん用意しました。スモールメイカーの技術や製品の展示、本格的なファッションショー、ものづくりの現場を感じる工場見学など、様々な切り口でスモールメイカーの技術と製品に触れていただけます。さらに、出展者、来場者など、誰でも参加できる懇親会もありますので、積極的に親交を深めてください。

このような〝リアルな縁〟の裾野が大きく広がれば、スモールメイカーのビジネスチャンス拡大につながり、10年後のすみだはとても面白い地域になるはずです。そして、「すみだでスモールメイカーをやりたい」という人がたくさん出てくれば最高ですね。

すみだのものづくり事始め

すみだの産業は、隅田川などの充実した水運、本所地域の豊富な人材、向島地域の広い土地など、ものづくりを支える条件が整っていたことを背景に発展してきました。

本所地域では、明治2年にガラス工場、明治6年に石鹸（せっけん）工場、明治9年にマッチ工場が創業しました。一方、向島地域では、江戸時代からの瓦焼きを元として、明治5年ごろにレンガの生産が始まり、すみだはものづくりのまちとして歩み出しました。そして、明治20年代には、鐘淵紡績（現・クラシエ、現・カネボウ化粧品）、精工舎（現・セイコークロック、現・セイコープレシジョン、現・セイコーソリューションズ）、長瀬富郎商店（現・花王）、宮田製銃所（現・ミヤタサイクル）などの企業が、すみだでの生産を開始しています。

広告 「両国1丁目1番地の便利屋さん」草刈り2時間6300円/1人。その他雑用等お困り事ご相談下さい。 ☎0120-56-8181